

(別紙 4(2))

目標達成計画

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護

事業所 グループホーム みどりの郷ほんじょう

作成日：令和1年6月26日

優先順位	※項目番号	現状における課題、解決すべき問題点	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	館内配置転換や退職など複数の職員の異動があり、なかなか職員の定着ができません。理念の共有、浸透ができなかった。また、現職スタッフのあっても事業所理念に対する意識が希薄になっている現状がある。	<ul style="list-style-type: none">全職員が理念の意味、必要性を理解し、中途採用の職員に対してもしっかり伝えていくことができるようになる。理念の共有が進むことで、入居者がもっと身近になり支援がより豊かになる。	<ul style="list-style-type: none">採用面接時、法人全体の理念に加えグループホームの理念も伝え、採用職員に入居者に向きあう法人の姿勢を持ってもらうようにする。毎朝礼時又は終礼時に理念の読み上げ唱和を定着させ、理念が示す意味の理解と実践に繋げるようにする。	12か月～ 継続
2	(12)	身心の状況変化を早期に発見し本人に合った支援を行えるようにしているが、現状での支援が困難な時は、チーム・家族と話し合いを持ち、本人にとってより良い支援が行えるよう努めている。最近では当ホームでの看取りを希望される家族も増えてきており、その対応について検討していくことが急務であると考えます。	グループホームの看取り支援が定着し、安心・安全・安楽な暮らしへの支援ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none">看取り支援への考え方、その方法等に関する研修会の随時開催それぞれの主治医、ご家族、地域関係者との話し合いの場を持ち、チームとして看取り支援への取り組みを進める職員全体の介護技術、適切なケアについての勉強会の実施	12か月～ 継続
3					

1 目標達成計画は、現状認識の共有と課題や問題点の把握、事業所のステップアップへ向けての取り組む目標の設定です。たくさん掲げることで焦点がぼやけないようスタッフ相互で話し合い、直近に優先して取り組むべき具体的な計画を記入してください。